



主体性等評価とアクティブラーニングの目指すもの2

定員 20 名

日時

10月11日 金

13:45~17:00

場所

九州工業大学
サテライト福岡天神
in 天神イムズ11F

スケジュール

| | | |
|-------------|-----|---------|
| 13:00~13:45 | 受 | 付 |
| 13:45~13:50 | 開 | 会 |
| 13:50~15:25 | 講演・ | 実習 |
| 15:25~15:35 | 休 | 憩 |
| 15:35~16:20 | 講 | 演 |
| 16:20~16:30 | 休 | 憩 |
| 16:30~17:00 | デ | ィスカッション |

目的

新しい時代になり、アクティブラーニングと呼ばれる方法がとられるようになりました。それでは、これまでの教育方法が間違っていたのかといえばそうではありません。AIなどの情報通信革命の中で、知識・技能の修得に加え、その利活用としての思考力・判断力、そして、他者との繋がり・コミュニケーションを通して生み出される知識の連結化のためのスキル・態度の修得も学力の一要素として重要になってきたことを意味しています。

そのためには、小中高大と各教育機関が連携しながら、新しい学力をどのようにして身に付けてもらえばよいのかについて共有する時間を設けることが必要だと感じ、今回の研修会を設定しました。

内容

本研修会では、「協働的な学び」や「主体的な学び」を高校時代にどのように身に付け、各大学の取組を例に挙げながら、そのスキルや態度をどのように評価していけばよいのかを共に体験しながら、模索する時間と致します。

講演・実習

13:50~15:25

協働的な学びの評価とその設計

講師：安永 卓生 教授

九州工業大学 副学長（入試・広報担当）／大学院情報工学研究院 物理情報工学研究系

協働的な学びの意義を共有して頂き、九州工業大学のAO入試で実施するグループワークを体験して頂きます。このグループワークの体験を通して、グループワークの設計指針とどういった点を評価しようとしているか、これらが高校での学びにどう繋がっていくかといった考えを深める活動を行って頂きます。また、その下地にあるリテラシー及びコンピテンシー評価に関しても、九工大のAO入試で行っている「課題解決型記述問題」や「高校入学後の活動」等に関して例を示しながら、その評価の在り方の理解を共有したいと思います。

講演

15:35~16:20

「主体性や協働性」は大学入試に必要なのか？

講師：大塚 智子 准教授

高知大学アドミッションセンター／医学教育部門／四国地区国立大学連合アドミッションセンター

「主体性や協働性」は受験生だけに求めるものでしょうか？—いいえ、違います。実は私たち大学も、主体性や協働性の評価に向けて「主体的に協働して」取り組んでいるのです。本講演では「主体性や協働性はどうして必要なのか？」を探りながら、「これからの入試に向けて高校が準備できること」や「大学はどのような点に着目するのか」について、高知大学および四国地区国立大学における連携した取り組みを交えながら考えます。

ディスカッション

16:30~17:00

主体性等評価の在り方

進行：安永 卓生 教授（九州工業大学 副学長（入試・広報担当）／大学院情報工学研究院 物理情報工学研究系）

パネリスト：大塚 智子 准教授（高知大学アドミッションセンター／医学教育部門／四国地区国立大学連合アドミッションセンター）

これまでの講演内容を踏まえた上で、主体性等評価の在り方、公正性とはなにかなどに関して議論を交わします。

●申込締切／令和元年 10月7日（月）17:00（なお、定員20名になり次第お申し込みを締め切らせていただきます。）

■企画・お問い合わせ 九州工業大学 高大接続・教育連携機構 TEL093-884-3218

■お申し込み 裏面の申込用紙に該当事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。FAX093-884-3060

